

財政福祉委員会 説明資料

平成26年3月12日

病院局

目 次

	頁
1 有料個室の利用状況	1
2 一般会計繰入金の内訳	2
3 一般会計繰入金の他都市比較	4
4 費目別・職種別定員の推移	6
5 費目別・職種別定員及び配置見込人員の状況	8
6 事務職員・技術職員の年代別平均給与	10
7 民間病院との給与比較	11
8 看護職員の年齢別退職者数の推移	12
9 陽子線治療センターにおける職種別の増員状況と人件費の推移	13
10 陽子線治療センターにおける患者の状況	14
11 陽子線治療の部位拡大における課題とその手続き	16
12 経常損益の推移	17
13 新名古屋市立病院改革プランに定めた主な指標の達成状況	18
14 市立病院の集約化による病院経営への影響・効果とその理由	21
15 東部医療センターにおける内視鏡下手術件数の推移	22
16 東部医療センター救急・外来棟の概要	23
17 東部医療センター新病棟の概要	28
18 西部医療センターにおける工業用水道の使用状況	29
19 広報の状況	30

1 有料個室の利用状況

区 分		特 別 室 使用加算額	室 数	面 積	利 用 率
		円	室	m ²	%
東部医療 センター	特 別 室	12,000	1	24.0	88.9
	特 A 室	8,000	5	13.6	96.7
	特 B 室	6,000	35	13.6	91.2
	特 C 室	3,000	27	12.0	94.7
西部医療 センター	特別個室 S	38,000	1	49.5	2.9
	特別個室 A	30,000	5	37.4～38.2	22.7
	特別個室 B	15,000	11	19.5～20.9	95.6
	一般個室 A	8,000	71	14.6～16.7	84.3
	一般個室 B	7,000	58	13.5～14.1	88.5
緑 市 民 院 病 院	特 別 室	9,000	3	19.2	—
	特 A 室	4,500	12	11.5	—
	特 B 室	3,000	4	11.5	—

注 1 : 特別室使用加算額には消費税及び地方消費税の額を含まない

注 2 : 平成 25 年 4 月から平成 26 年 1 月までの実績

(参考) 市立大学病院

区 分		特 別 室 使用加算額	室 数	面 積	利 用 率
市立大学 病 院		円	室	m ²	%
	特 別 A 室	38,000	2	40.2	38.9
	特 別 B 室	25,000	9	26.8	59.0
	特 別 C 室	15,000	30	18.1	86.0
	特 別 D 室	10,000	4	12.7	80.5
	一 般 個 室	7,000	142	12.7	87.0

注 1 : 特別室使用加算額には消費税及び地方消費税の額を含まない

注 2 : 平成 25 年 4 月から平成 26 年 1 月までの実績

2 一般会計繰入金の内訳

区	分	東部医療センター
収	益 的 収 入	1,618,750
一	般 会 計 負 担 金 (医 業 収 益)	374,859
	救 急 医 療 の 確 保 に 要 す る 経 費	340,634
	保 健 衛 生 行 政 事 務 に 要 す る 経 費	34,225
	治 療 料 等 の 減 免 に 対 す る 補 助 (※)	—
一	般 会 計 負 担 金 (医 業 外 収 益)	24,743
	児 童 手 当 に 要 す る 経 費	24,743
一	般 会 計 補 助 金 (医 業 外 収 益)	934,750
	建 設 改 良 に 要 す る 経 費 (★)	27,158
	特 殊 医 療 に 要 す る 経 費	375,715
	高 度 医 療 に 要 す る 経 費	—
	公 立 病 院 附 属 看 護 師 養 成 所 の 運 営 に 要 す る 経 費	46,678
	院 内 保 育 所 の 運 営 に 要 す る 経 費	47,756
	研 究 研 修 に 要 す る 経 費	40,004
	長 期 給 付 に 要 す る 経 費	287,079
	公 立 病 院 改 革 プ ラ ン に 要 す る 経 費 (*)	14,716
	医 師 確 保 対 策 に 要 す る 経 費	95,644
	指 定 管 理 者 へ の 交 付 金 に 要 す る 経 費 (政 策 的 医 療)	—
	指 定 管 理 者 へ の 交 付 金 に 要 す る 経 費 (円 滑 導 入) (※) (*)	—
一	般 会 計 補 助 金 (特 別 利 益)	284,398
	公 立 病 院 改 革 プ ラ ン に 要 す る 経 費 (*)	284,398
資	本 的 収 入	2,614,291
一	般 会 計 出 資 金	2,290,000
	整 備 費 出 資 金 (*) (★)	2,290,000
一	般 会 計 補 助 金	324,291
	建 設 改 良 に 要 す る 経 費 (★)	314,159
	救 急 医 療 の 確 保 に 要 す る 経 費 (★)	10,132
	高 度 医 療 に 要 す る 経 費	—
	計	4,233,041
	基 準 内 繰 入 (※ 以 外) 計	4,233,041
	基 準 外 繰 入 (※) 計	—
	経 常 に 要 す る 経 費 (* ・ ★ 以 外) 計	1,292,478
	臨 時 / 施 設 整 備 等 に 要 す る 経 費 (* ・ ★) 計	2,940,563

注1：※は総務省通知「平成25年度の地方公営企業繰出金について」に該当しない繰入金、

注2：陽子線治療センターに係る繰入金は「款 健康福祉費」より、その他の繰入金につい

(単位：千円)

西部医療センター	西部医療センター	陽子線治療センター	緑市民病院	計 (陽子線以外)	計
2,584,224	1,754,440	829,784	466,451	3,839,641	4,669,425
319,900	299,900	20,000	4,167	678,926	698,926
272,832	272,832	—	4,167	617,633	617,633
27,068	27,068	—	—	61,293	61,293
20,000	—	20,000	—	—	20,000
23,357	23,357	—	—	48,100	48,100
23,357	23,357	—	—	48,100	48,100
1,986,967	1,177,183	809,784	326,284	2,438,217	3,248,001
187,964	182,956	5,008	23,331	233,445	238,453
455,949	455,949	—	—	831,664	831,664
775,116	—	775,116	—	—	775,116
49,313	49,313	—	—	95,991	95,991
63,590	63,590	—	—	111,346	111,346
42,823	40,023	2,800	—	80,027	82,827
301,747	282,855	18,892	—	569,934	588,826
5,885	5,885	—	2,953	23,554	23,554
104,580	96,612	7,968	—	192,256	200,224
—	—	—	200,000	200,000	200,000
—	—	—	100,000	100,000	100,000
254,000	254,000	—	136,000	674,398	674,398
254,000	254,000	—	136,000	674,398	674,398
910,859	827,744	83,115	139,258	3,581,293	3,664,408
—	—	—	—	2,290,000	2,290,000
—	—	—	—	2,290,000	2,290,000
910,859	827,744	83,115	139,258	1,291,293	1,374,408
869,301	827,744	41,557	132,424	1,274,327	1,315,884
—	—	—	6,834	16,966	16,966
41,558	—	41,558	—	—	41,558
3,495,083	2,582,184	912,899	605,709	7,420,934	8,333,833
3,475,083	2,582,184	892,899	505,709	7,320,934	8,213,833
20,000	—	20,000	100,000	100,000	120,000
2,177,933	1,311,599	866,334	204,167	2,808,244	3,674,578
1,317,150	1,270,585	46,565	401,542	4,612,690	4,659,255

*は臨時に要する経費に該当する繰入金、★は施設整備等に要する経費に該当する繰入金
ては「款 諸支出金」より繰入れ

3 一般会計繰入金の他都市比較

(1) 収益的収入

区 分	病床数	予 定 額		繰 入 率
			1 床 当 たり	
	床	千円	千円	%
名 古 屋	1,298	4,669,425	3,597	14.6
札 幌	798	1,775,326	2,225	7.6
仙 台	525	2,009,084	3,827	13.4
さ い た ま	567	1,296,410	2,286	8.8
千 葉	667	3,461,226	5,189	16.7
川 崎	1,472	5,934,515	4,032	18.5
横 浜	1,584	3,845,532	2,428	12.3
新 潟	676	1,910,232	2,826	8.2
静 岡	1,006	4,510,316	4,483	14.3
浜 松	891	2,302,102	2,584	32.7
京 都	-	-	-	-
大 阪	1,540	5,166,571	3,355	12.0
堺	493	1,721,956	3,493	12.1
神 戸	1,058	3,458,790	3,269	7.8
岡 山	-	-	-	-
広 島	1,700	4,476,369	2,633	8.3
北 九 州	1,230	2,518,871	2,048	10.4
福 岡	408	2,475,856	6,068	18.6
熊 本	703	1,553,553	2,210	10.1

注：繰入率は総収益に対する比率

(2) 資本的収入

区 分	予 定 額	繰 入 率
	千円	%
名古屋	3,664,408	30.8
札幌	1,510,000	25.9
仙台	454,258	3.1
さいたま	449,630	18.3
千葉	0	0.0
川崎	1,838,224	22.1
横浜	2,721,144	45.2
新潟	807,603	19.8
静岡	240,900	7.0
浜松	16,875	0.7
京都	-	-
大阪	3,893,306	40.6
堺	0	0.0
神戸	58,037	2.3
岡山	-	-
広島	214,738	2.1
北九州	1,029,858	33.9
福岡	0	0.0
熊本	110,438	6.8

注：繰入率は資本的支出に対する比率

4 費目別・職種別定員の推移

区 分		東 部 医 療 セ ン タ ー 費				西 部 医 療			
						西 部 医 療 セ ン タ ー			
		25年度	26年度	増減	増減理由	25年度	26年度	増減	増減理由
特 別 職		—	—	—	—	—	—	—	—
事務職員		31	34	3	病院整備部門の充実等	23	25	2	事務部門の充実等
技 術 職 員	医 師 歯科医師	93	95	2	診療体制の充実	97	97	0	—
	看護職員	390	407	17	救急・外来棟開設に向けた体制の充実等	410	428	18	患者数の増加に対応するための体制の充実等
	薬 剤 師	22	27	5	病棟薬剤業務の充実等	16	19	3	病棟薬剤業務の充実
	診療放射線技師	20	22	2	救急・外来棟開設に向けた体制の充実	19	21	2	患者数の増加に対応するための体制の充実
	臨床検査技師	19	19	0	—	19	19	0	—
	理学療法士	10	12	2	体制の充実	6	7	1	体制の充実
	そ の 他	41	39	△ 2	技能労務職員の減員	14	14	0	—
計		626	655	29	—	604	630	26	—

(単位：人)

セ ン タ ー 費				総 係 費				計		
陽 子 線 治 療 セ ン タ ー				25年度	26年度	増減	増減理由	25年度	26年度	増減
—	—	—	—	1	1	0	—	1	1	0
1	3	2	事務部門の 充実	32	33	1	技能労務職 員からの巻 替え	87	95	8
6	8	2	診療体制の 充実	—	—	—	—	196	200	4
4	9	5	患者数の増 加に対応す るための体 制の充実	1	1	0	—	805	845	40
—	—	—	—	—	—	—	—	38	46	8
8	13	5	患者数の増 加に対応す るための体 制の充実	—	—	—	—	47	56	9
—	—	—	—	—	—	—	—	38	38	0
—	—	—	—	—	—	—	—	16	19	3
2	4	2	技師の増員	4	3	△ 1	技能労務職 員の事務職 員への巻替 え	61	60	△ 1
21	37	16	—	38	38	0	—	1,289	1,360	71

5 費目別・職種別定員及び配置見込人員の状況

区 分		東 部 医 療 セ ン タ ー 費				西 部 医 療			
						西 部 医 療 セ ン タ ー			
		定員	配置 見込	過欠員	過欠員の理由	定員	配置 見込	過欠員	過欠員の理由
特 別 職		—	—	—	—	—	—	—	—
事務職員		34	34	0	—	25	25	0	—
技 術 職 員	医 師 歯科医師	95	92	△ 3	医師不足に よる欠員	97	90	△ 7	医師不足に よる欠員
	看護職員	407	420	13	育休代替職 員の配置に よる過員	428	446	18	育休代替職 員の配置に よる過員
	薬 剤 師	27	27	0	—	19	19	0	—
	診療放射 線 技 師	22	22	0	—	21	21	0	—
	臨 床 検 査 技 師	19	19	0	—	19	19	0	—
	理 療 学 士	12	12	0	—	7	7	0	—
	そ の 他	39	38	△ 1	技能労務職 員の欠員	14	14	0	—
計		655	664	9	—	630	641	11	—

(単位：人)

セ ン タ ー 費				総 係 費				計		
陽 子 線 治 療 セ ン タ ー				定員	配置 見込	過欠員	過欠員 の理由	定員	配置 見込	過欠員
—	—	—	—	1	1	0	—	1	1	0
3	3	0	—	33	33	0	—	95	95	0
8	3	△ 5	専門医不足 による欠員	—	—	—	—	200	185	△ 15
9	9	0	—	1	1	0	—	845	876	31
—	—	—	—	—	—	—	—	46	46	0
13	13	0	—	—	—	—	—	56	56	0
—	—	—	—	—	—	—	—	38	38	0
—	—	—	—	—	—	—	—	19	19	0
4	4	0	—	3	0	△ 3	技能労務職 員の欠員	60	56	△ 4
37	32	△ 5	—	38	35	△ 3	—	1,360	1,372	12

6 事務職員・技術職員の年代別平均給与

(単位：千円)

区 分	事 務 職 員	技 術 職 員
6 0 歳 以 上	—	1 2 , 7 9 4
5 0 歳 ～ 5 9 歳	9 , 4 5 3	1 0 , 0 9 5
4 0 歳 ～ 4 9 歳	8 , 4 9 4	8 , 8 1 7
3 0 歳 ～ 3 9 歳	6 , 6 8 4	7 , 2 9 3
2 9 歳 以 下	4 , 5 3 4	4 , 8 2 4

注：平成26年度予算の理論値

7 民間病院との給与比較

(単位：円)

区 分	平 均 年 収	
	医 師	看 護 職 員
名古屋市立病院	15,096,749	5,891,863
公 立 病 院	15,167,406	5,386,271
公 的 病 院	13,827,453	5,000,552
医 療 法 人	15,896,848	4,394,766

注1：平成24年度の実績

注2：名古屋市立病院は、緑市民病院を除く

注3：名古屋市立病院以外は、厚生労働省「第19回医療経済実態調査」による

注4：公的病院とは、日本赤十字社、済生会、厚生農業協同組合連合会など

8 看護職員の年齢別退職者数の推移

(単位：人)

区 分		東 部 医 療 セ ン タ ー	西 部 医 療 セ ン タ ー	計
23 年 度	21歳～25歳	10	1	11
	26歳～30歳	6	6	12
	31歳～35歳	10	5	15
	36歳～40歳	4	1	5
	41歳～45歳	4	—	4
	46歳～50歳	—	2	2
	51歳～55歳	—	—	—
	56歳～60歳	11	2	13
	計	45	17	62
24 年 度	21歳～25歳	11	6	17
	26歳～30歳	21	8	29
	31歳～35歳	7	6	13
	36歳～40歳	5	4	9
	41歳～45歳	5	7	12
	46歳～50歳	2	—	2
	51歳～55歳	3	2	5
	56歳～60歳	3	6	9
	計	57	39	96

9 陽子線治療センターにおける職種別の増員状況と人件費の推移

(1) 職種別の増員状況

(単位：人)

区 分	2 5 年 度	2 6 年 度	増員数
医 師	6	8	2
看護職員	4	9	5
診療放射線技師	8	1 3	5
技師（医学物理）	2	4	2
事 務	1	3	2
計	2 1	3 7	1 6

(2) 人件費

(単位：千円)

2 5 年 度	2 6 年 度
2 0 9, 3 2 8	4 5 5, 3 3 3

10 陽子線治療センターにおける患者の状況

(1) 月別治療患者数

(単位：人)

区 分	人 数
平成25年 2月	2
3月	13
4月	4
5月	16
6月	13
7月	25
8月	22
9月	23
10月	31
11月	22
12月	28
平成26年 1月	32
2月	29
計	260

注：平成26年2月28日現在

(2) 居住地別治療患者数

(単位：人)

区 分	人 数
名 古 屋 市	7 2
愛知県（名古屋市除く）	1 3 1
岐 阜 県	2 1
三 重 県	2 9
そ の 他	7
計	2 6 0

注：平成26年2月28日現在

(3) 部位別治療患者数

(単位：人)

区 分	人 数
前 立 腺	1 5 0
肝 臓	6 0
肺	3 7
そ の 他	1 3
計	2 6 0

注：平成26年2月28日現在

(4) 待機状況

(単位：人)

区 分	治療患者数	うち待機期間があったもの
平成25年10月	3 1	1
1 1 月	2 2	1
1 2 月	2 8	3
平成26年 1 月	3 2	2
2 月	2 9	2

注：平成26年2月28日現在

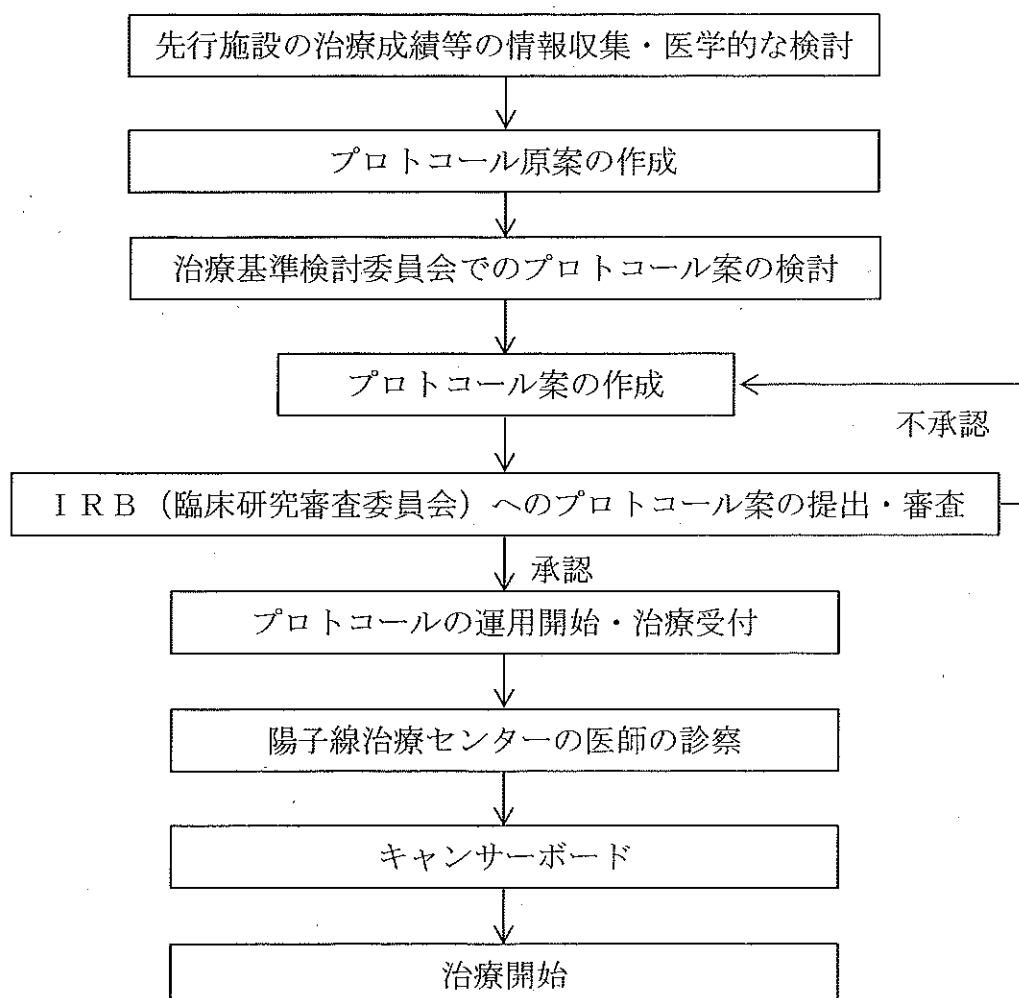
11 陽子線治療の部位拡大における課題とその手続き

(1) 課題

区 分	課 題
すい臓がん	・ 確実な治療を行うためのプロトコルの策定
食道がん	・ 先行施設の治療成績を踏まえた線量・分割回数等の検討 ・ 確実な治療を行うためのプロトコルの策定
乳がん	・ 放射線の単独照射による治療法が確立されておらず、臨床研究段階である ・ CTを治療室に設置するなどの施設改修が必要となる可能性がある

注：プロトコルとは、照射方法、治療対象、治療後の経過観察時の評価項目等を定めた治療基準をいう

(2) 手続き



12 経常損益の推移

(単位：百万円)

区 分	13 年 度	18 年 度	23 年 度	24 年 度
東部医療センター	25	24	△ 340	192
西部医療センター	23	△ 118	△ 2,222	△ 1,484
緑 市 民 病 院	△ 41	△ 512	△ 1,473	△ 255
守 山 市 民 病 院	45	△ 299	△ 953	—
城 西 病 院	7	△ 235	—	—
計	59	△ 1,140	△ 4,988	△ 1,547

注1：平成24年度は守山市民病院を除く

注2：西部医療センターの平成13年度及び平成18年度は、城北病院の値

注3：緑市民病院は平成24年度から利用料金制による指定管理者制度を導入

13 新名古屋市立病院改革プランに定めた主な指標の達成状況

(1) 達成状況

ア 東部医療センター

区 分	計 画	実 績 達	達 成 率 達	主 な 増 減 理 由
1 日 平 均 患 者 数 (入 院)	439人	422人	96.1%	平均在院日数が短縮したため
1 日 平 均 患 者 数 (外 来)	780人	872人	111.8%	紹介患者が増加したため
診 療 単 価 (入 院)	55,236円	59,855円	108.4%	高度な手術が増加したため 平均在院日数が短縮したため
診 療 単 価 (外 来)	11,989円	9,927円	82.8%	開業医などで診療可能な患者さんを十分に逆紹介することができなかったため
救 急 車 搬 送 件 数	5,100件	6,000件	117.6%	救急受入体制を改善したため
手 術 件 数	3,100件	3,900件	125.8%	手術枠を拡大したため
心 臓 血 管 外 科 手 術 件 数 (再 掲)	150件	240件	160.0%	後期臨床研修医を育成し、手術可能な医師数が増加したため
腹 腔 鏡 手 術 件 数 (再 掲)	550件	950件	172.7%	専門医が増加したため
脳 卒 中 入 院 患 者 数	450人	420人	93.3%	医師の欠員があったため

イ 西部医療センター

区 分	計 画	実 績 達 成 率 達 成 率	主 な 増 減 理 由	
1 日 平 均 患 者 数 (入 院)	440人	431人	98.0%	(概ね計画どおり)
1 日 平 均 患 者 数 (外 来)	1,100人	1,008人	91.6%	開院後の計画値を正確に見込むことが困難だったため
診 療 単 価 (入 院)	50,648円	48,085円	94.9%	看護職員不足により、予定していた新生児治療回復室入院医療管理料にかかる施設基準が取得できなかったため
診 療 単 価 (外 来)	9,786円	15,933円	162.8%	単価の高い外来がん化学療法、放射線治療、陽子線治療の件数が増加したため
小 児 科 二 次 救 急 受 入 件 数	6,900件	3,600件	52.2%	医師不足により、全日二次救急が実施できなかったため
手 術 件 数	2,600件	3,900件	150.0%	手術室の体制を強化したため
リ ニ ア ッ ク 実 施 件 数	6,100件	6,000件	98.4%	(概ね計画どおり)
分 べ ん 件 数	1,200件	1,300件	108.3%	平成24年度中に分べん枠の拡大を図ったため

(2) 今後の重点的な取組み

区 分	主 な 取 組 内 容
東部医療センター	○救急医療の充実 ○地域医療連携の充実 ○心臓血管センター、脳血管センター、内視鏡下手術センター、消化器内視鏡センターの充実 ○救急・外来棟及び新病棟の整備 ○手術室の体制の充実 ○リハビリテーションの充実
西部医療センター	○救急医療の充実 ○地域医療連携の充実 ○小児・周産期医療の充実 ○陽子線治療を始めとするがん医療の充実 ○手術室の体制の充実

14 市立病院の集約化による病院経営への影響・効果とその理由

(1) 影響・効果

区 分	21 年 度	25年度見込
100床当たりの職員数	医 師 12.0 人 看護職員 61.5 人	医 師 17.5 人 看護職員 82.8 人
救 急 搬 送 件 数	5,005 件	8,200 件
手 術 件 数	6,269 件	7,800 件
新 生 児 搬 送 件 数	126 件	130 件
母 体 搬 送 件 数	46 件	110 件
入 院 ・ 外 来 収 益	179.4 億円	228.2 億円
純 損 益	△ 41.9 億円	△ 4.0 億円

注 1：平成21年度は5病院、平成25年度見込は2病院の値。ただし、新生児搬送件数及び母体搬送件数は、平成21年度は城北病院、平成25年度見込は西部医療センターの件数

注 2：純損益の平成25年度見込は緑市民病院を含む3病院の値

注 3：100床当たりの職員数は、各年度3月1日現在

(2) 理由

5病院に分散した医療資源を2つの病院に集約した結果、医師・看護職員の2病院への集中配置や、2病院への効率的な設備投資が可能となり、東部医療センターは「断らない救急」、心臓血管疾患・脳血管疾患医療、西部医療センターは小児・周産期医療、がん医療といった特色をもった質の高い医療を提供することができるようになったため。

15 東部医療センターにおける内視鏡下手術件数の推移

(単位：件)

区 分		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
外 科		62	73	112	328	356
	胃がん	—	—	3	7	17
	大腸がん	3	13	10	31	44
	胆嚢炎	48	40	69	69	83
	虫垂炎	—	—	1	80	67
	鼠径ヘルニア	—	—	—	63	79
	その他	11	20	29	78	66
泌尿器科		39	45	65	60	61
	前立腺がん	18	28	31	28	27
	腎（尿路）がん	13	13	21	26	20
	その他	8	4	13	6	14
産婦人科		234	271	302	308	379
	卵巣腫瘍	114	147	168	166	183
	子宮筋腫	78	77	95	106	149
	その他	42	47	39	36	47
計		335	389	479	696	796

注：平成25年度は、平成25年4月から平成26年1月までの実績

16 東部医療センター救急・外来棟の概要

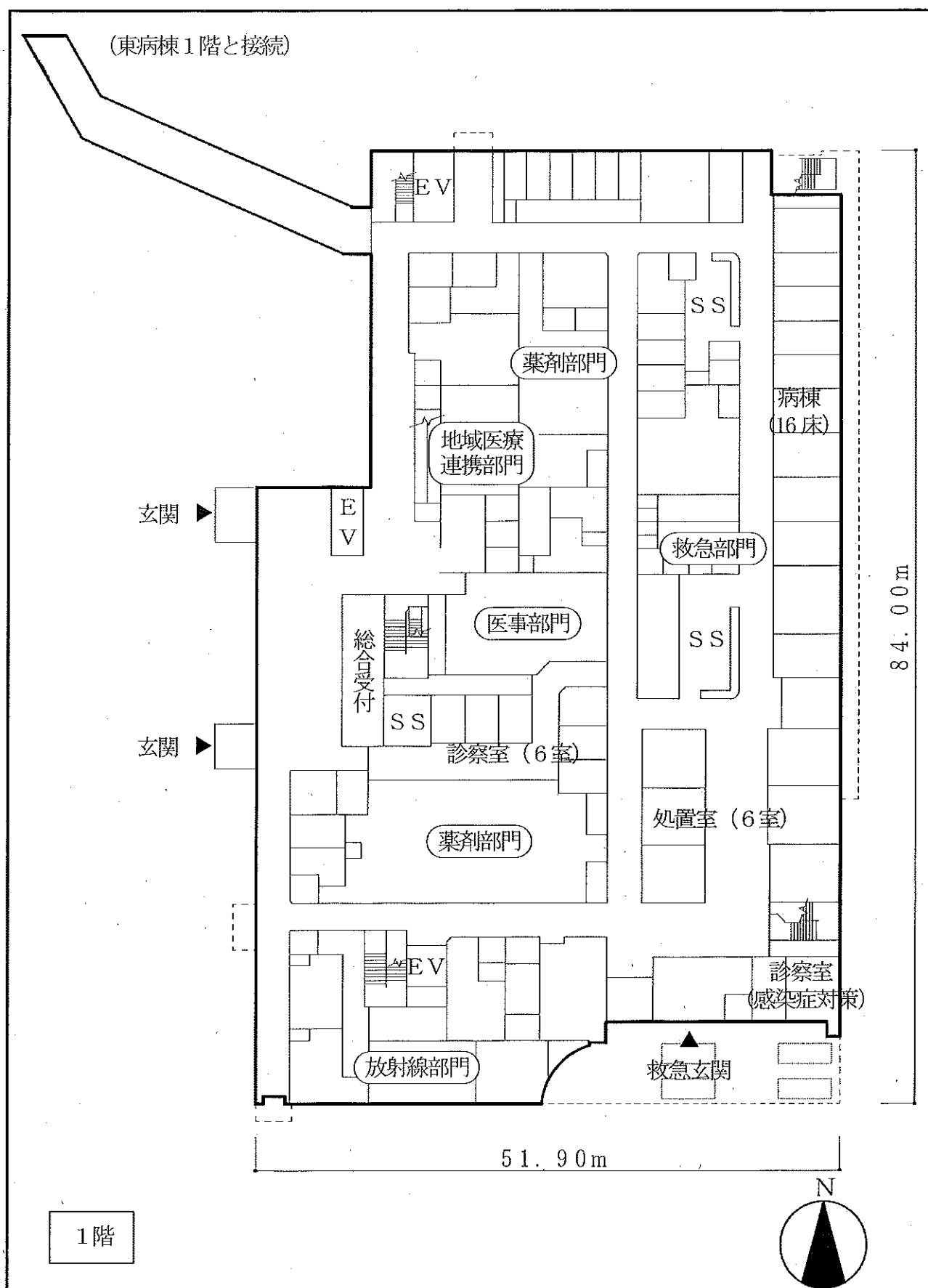
(1) 施設概要

建築面積	約4,280㎡
延床面積	約14,330㎡
構 造	鉄骨造(免震構造)
階 数	地上4階、塔屋1階
各階構成	1階：救急部門、放射線部門、地域連携部門、薬剤部門、医事部門、総合受付等 2階：一般外来部門 3階：手術部門、集中治療部門、中央材料部門、家族ラウンジ等 4階：管理部門、臨床研修センター、多目的ホール、備蓄倉庫等 塔屋：非常用自家発電設備、太陽光発電設備

(2) 完成イメージ図(南西より)



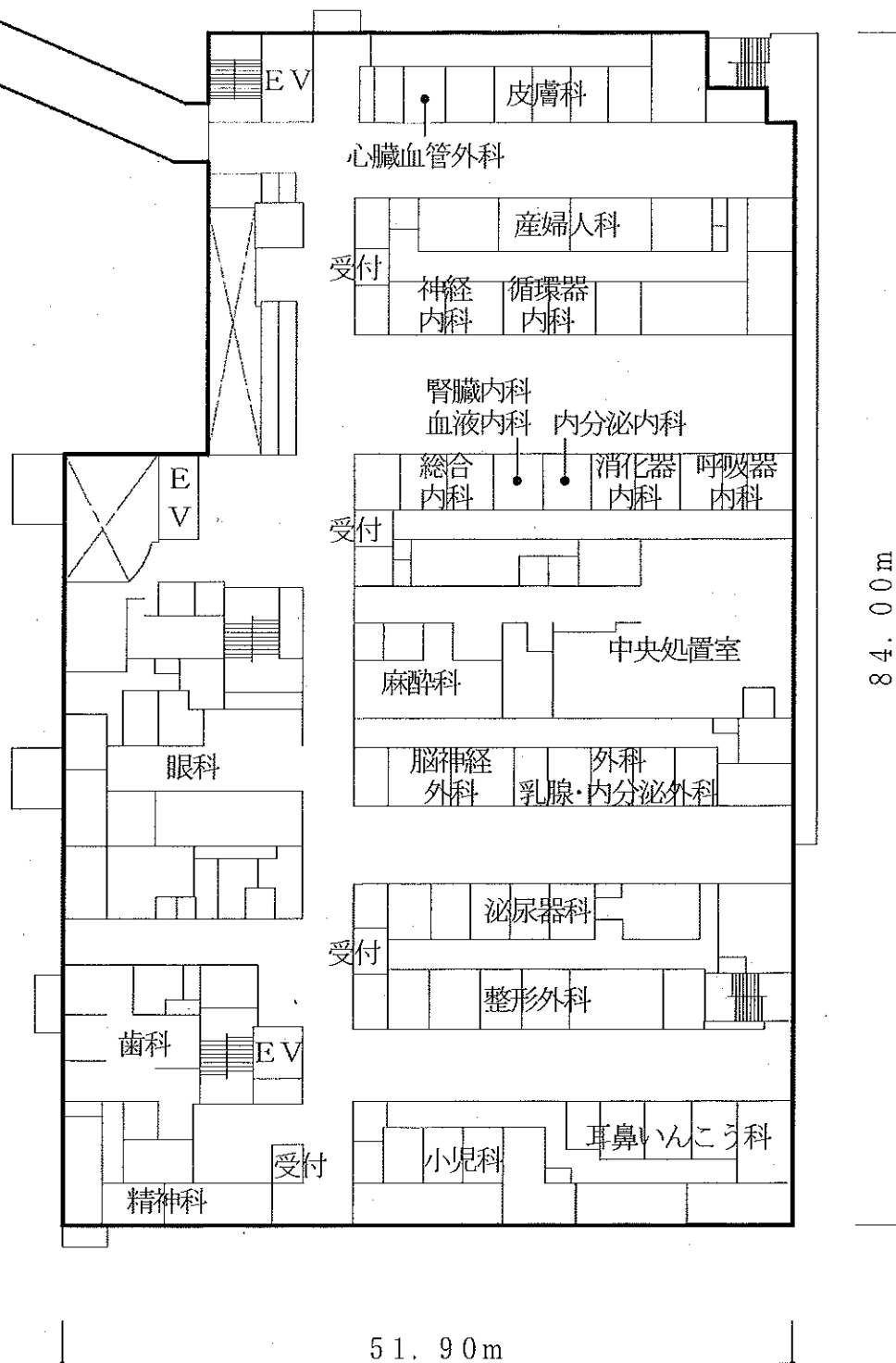
(3) 各階平面図



注1: SSは、スタッフステーション

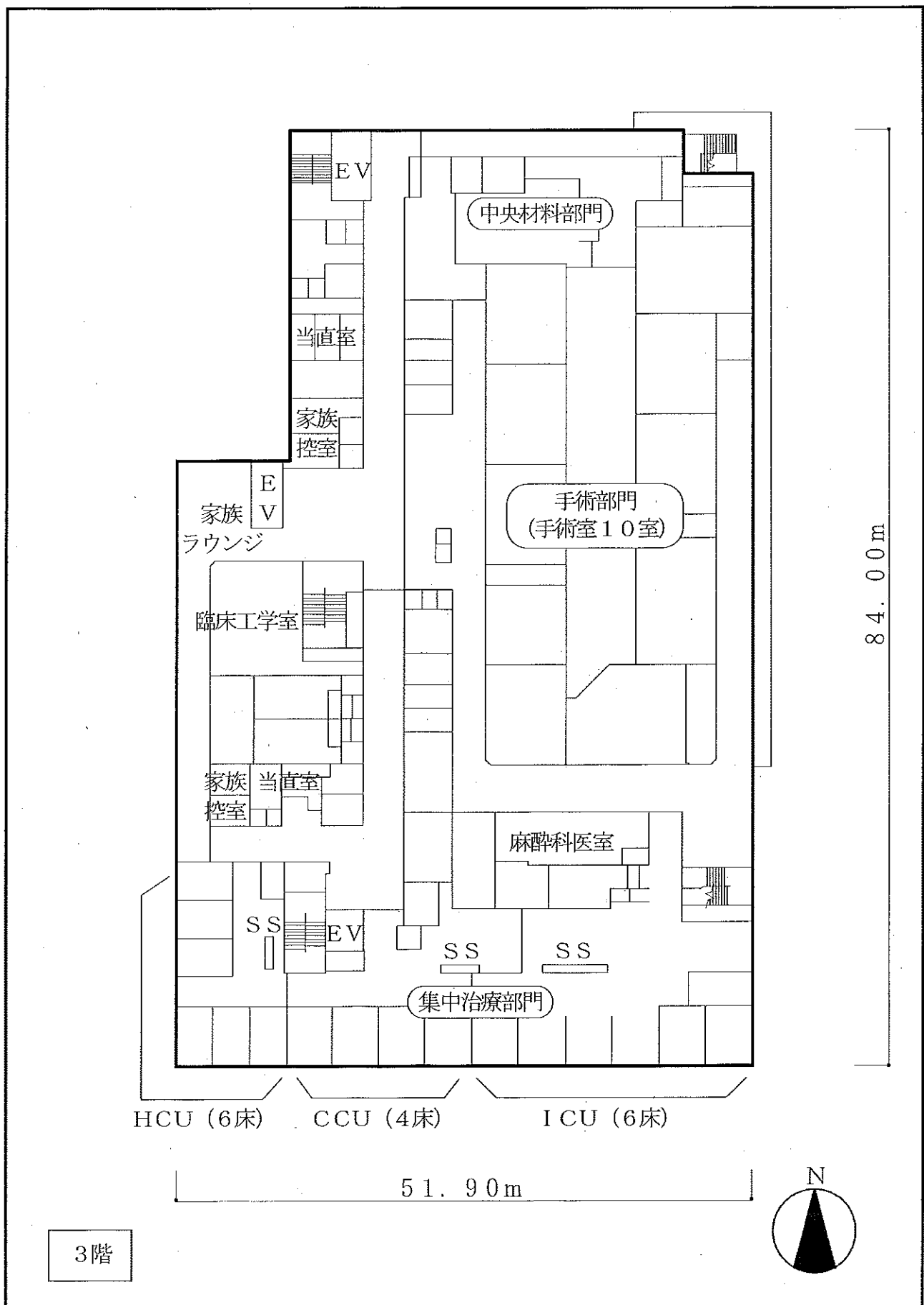
注2: EVは、エレベーター

(東病棟2階と接続)

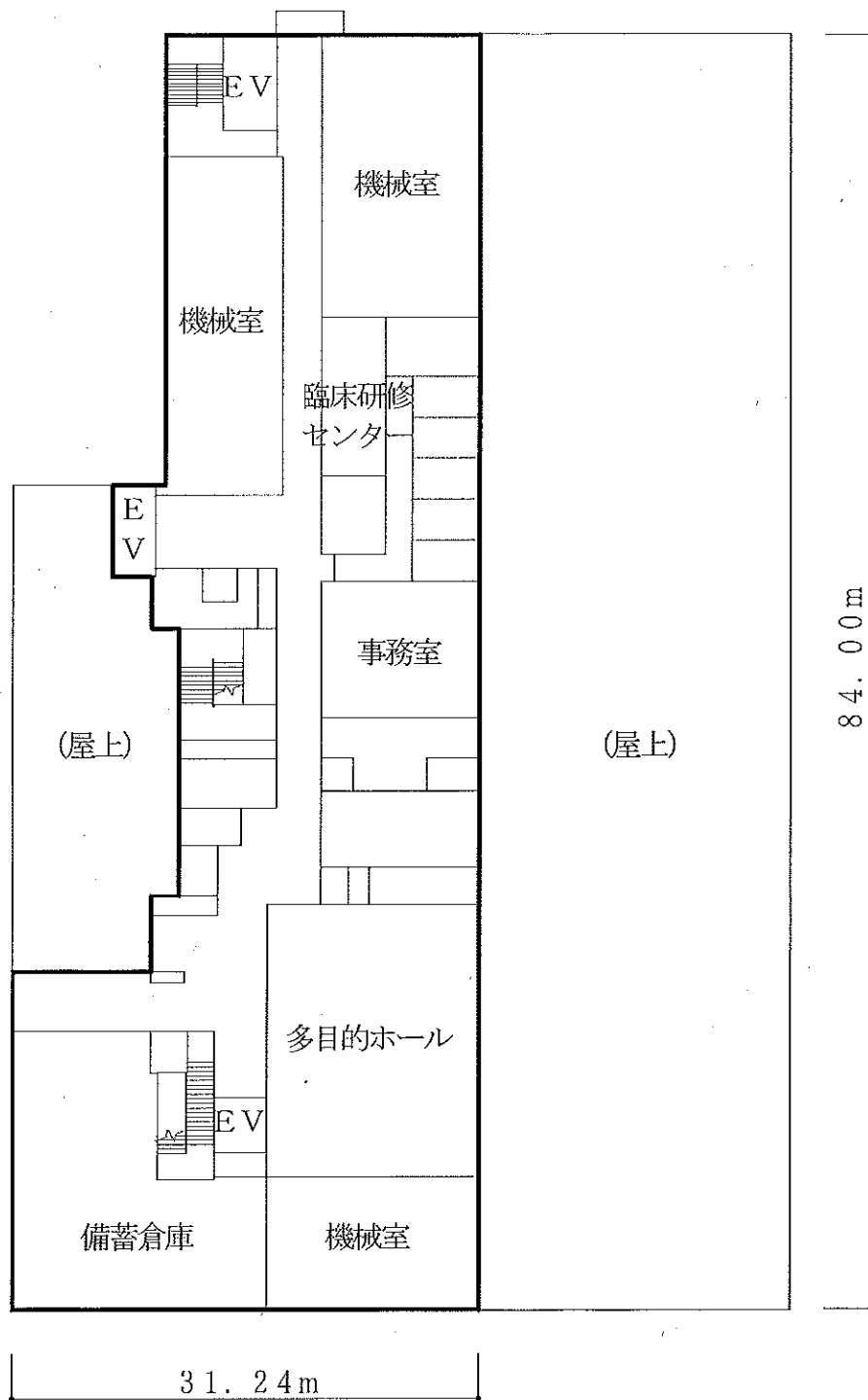


2階

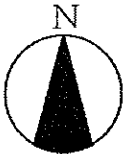




注：ICUは集中治療室、CCUは冠疾患集中治療室、HCUは高度治療室



4階



17 東部医療センター新病棟の概要

(1) 施設概要

延床面積	約28,500㎡
階数	地上8階建
部門構成	病棟部門：一般病床456床、感染症病床10床 診療部門：放射線部門、中央検査部門、内視鏡部門、リハビリテーション部門等 供給部門：臨床工学部門、給食部門、エネルギーセンター等 管理部門：医局、会議室、更衣室、仮眠室等

(2) 整備スケジュール案

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
設 計	基本設計		実施設計					
工 事			既存棟(外来棟・救急診療棟) 取りこわし工事		建設工事	既存棟(南病棟・中央棟等) 取りこわし・外構工事		
						開棟◎		

18 西部医療センターにおける工業用水道の使用状況

区 分	使 用 量	工業用水道料金	下水道使用料	計
平成 25 年	m ³	円	円	円
4 月	1,779	120,755	462,772	583,527
5 月	1,511	120,219	391,297	511,516
6 月	2,076	115,668	541,982	657,650
7 月	1,875	119,523	488,376	607,899
8 月	1,726	119,523	448,637	568,160
9 月	1,682	115,828	436,902	552,730
10 月	1,534	119,523	397,431	516,954
11 月	1,269	115,721	326,755	442,476
12 月	1,424	121,023	368,094	489,117
平成 26 年				
1 月	1,292	72,292	332,889	405,181
2 月	1,611	78,236	417,967	496,203
計	17,779	1,218,311	4,613,102	5,831,413

注：工業用水道料金は、平成 26 年 1 月より第 1 種契約（時間契約）から特例契約（月間契約）に変更

19 広報の状況

(1) 平成26年度の主な取組事項

対 象 者	内 容
市 民	<新規事項> ・市立病院パンフレットの作成 ・ウェブサイトリニューアル ・救急・外来棟開設記念式典及び内覧会開催 <継続事項> ・新聞広告及び市広報媒体（広報なごや、テレビ、ラジオ、大型映像装置等）の活用 ・市民向け公開講座等の開催 ・陽子線治療センターのパンフレットの配布 ・陽子線治療に関するセミナー等の活用
医療関係者	<継続事項> ・病診連携医向けの広報誌の発行及び診療案内パンフレット等の配付 ・病診連携勉強会の開催 ・陽子線治療センターのパンフレットを用いた関係医療機関への説明 ・研修医や看護職員の募集に係る病院合同就職説明会への参加、病院ワークショップ等の開催 ・看護職員の募集に係る広告（新聞、就職情報誌等）及び市広報媒体（広報なごや、ラジオ、大型映像装置等）の活用

(2) 広報関係予算

(単位:千円)

2 5 年 度	2 6 年 度
1 7, 1 2 0	2 5, 8 7 2